

# 施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

## (1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

### ○社会経済活動を支えるインフラ施設の老朽化対策（農業水利施設）

農業水利施設を対象に老朽化状況を調べる機能診断等を行い、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図り、農業の生産力の維持・確保と地域の防災・減災力の向上を推進します。



【ドローンを活用した北海幹線用水路(岩見沢市)の機能診断】



【豊幌排水機場(岩見沢市)のポンプ設備内の潤滑診断調査】

### [今年度の実施（完了）状況]

- 農業水利施設の機能診断調査等を実施。

# 施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

## (1) 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

### ○社会経済活動を支えるインフラ施設の耐震強化（新千歳空港施設）

大規模地震災害時に緊急物資輸送拠点としての機能を確保し、航空ネットワークの維持等を図るため、河川函渠等の耐震補強や滑走路の液状化対策を推進します。

液状化層の地盤改良等により、滑走路表面の凹凸を防止



【新千歳空港施設 美沢川函渠の耐震対策】



【美沢川函渠耐震補強 施工状況】

### [今年度の実施（完了）状況]

- 空港の下を横断している美沢川函渠の耐震補強など、今年度予定していた工事は完了。
- 早期整備に向け事業進捗を図った。



# 施策4. 強靱で持続可能な国土の形成

## (2) 恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成

### ○河川環境の保全・再生や魅力ある地域づくり

健全な生態系ネットワークの形成に取り組み、生物生息環境を保全・再生するとともに、野生生物と地域生活・産業の両立を図り、豊かな自然資本の持続的な活用による地域振興・経済活性化を実現するため「石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会」を設立しました。舞鶴遊水地においても、引き続きタンチョウの生息環境維持・構築や地域活性化に向けた取組を実施します。

本協議会では、学識者、北海道開発局、環境省、北海道、市町村、企業、団体等が一堂に会し、健全な生態系ネットワークの形成に取り組みます。



【第1回 石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会】

当部が整備した舞鶴遊水地に、タンチョウがやって来ました。平成28年9月に長沼町と当部が連携し、生態系ネットワーク形成に向けた取組の一環として「タンチョウも住めるまちづくり検討協議会」を設立し地域の活性化に取り組んでいます。舞鶴遊水地では令和2年に初めてタンチョウのヒナが誕生しました。さらに令和3年、4年、5年と4年連続でヒナの誕生が確認されています。



【地域づくり専門部会の実施状況】



【R5.11舞鶴遊水地(長沼町)で確認された親鳥とヒナ】  
(提供:環境省・一般社団法人タンチョウ研究所)

### [今年度の実施(完了)状況]

- 石狩川流域の生態系ネットワーク形成を目的に、全体構想の策定、流域の取組に関する共有・拡大、情報発信等に関する包括的な役割を担う「石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会」を設立(令和6年2月7日)。
- 第9回タンチョウも住めるまちづくり検討協議会を開催(令和6年2月7日)するとともに、地域づくり専門部会を開催(令和6年1月15日)し地域の魅力を発信する取組を推進。
- 令和2年度より4年連続で舞鶴遊水地においてタンチョウが繁殖に成功し、ヒナが誕生したことから、遊水地の一部を立ち入り制限するなど、タンチョウの生息環境維持・構築に向けた取組を実施。